

第84回関西学生対校駅伝競走大会



丹後大学駅伝

資料No.3



関西の天辺は譲れない。

2022年**11月19日(土)**
AM7:45出走
久美浜公園～宮津市役所前

立命館大学
京都大学

京都産業大学
びわこ学院大学

関西学院大学
大阪大学

関西大学
近畿大学

大阪経済大学
同志社大学

記録審査上位12校
10月3日
記録審査通過校決定

主催 関西学生陸上競技連盟
後援 京都府・京都府教育委員会
丹後大学駅伝後援会
読売新聞社
読売テレビ
海の京都 DMO
特別協賛 住友電気工業株式会社
協賛 アシックスジャパン株式会社
株式会社ニチレク
新田ゼラチン株式会社

協力 京都丹後鉄道(WILLER TRAINS株式会社)
赤穂化成株式会社
丹後海陸交通株式会社
富田電気通信株式会社
NPO法人京丹後コミュニティ放送
運営協力 (一財)京都陸上競技協会 他
支援 京都府警察本部
宮津警察署
京丹後警察署



大会特設HP



関西学連
公式HP

Twitter [@inficaak] · Instagram [icaak_1921] 随時更新中
あすリートチャンネルにてライブ配信予定

・本大会の開催にあたり、コース周辺各所で交通規制を行います。
ご不便をおかけしますが、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。
交通規制の詳細は公式HPをご覧ください。

※ 感染症対策を講じて大会を開催します。
大会に関するお問い合わせ TEL06-6442-8770 (関西学生陸上競技連盟 事務所)



海の京都

住友電工

Connect with Innovation



東の箱根に追いつけ！西の「丹後大学駅伝」 テレビ・インターネット放送で知名度アップ ふるさと納税を活用したGCF(ガバメントクラウドファンディング)を開始！

毎年 11 月に京都府北部の丹後地域を舞台に開催される関西学生対校駅伝競走大会（関西学生陸上競技連盟主催）は、関西 2 府 4 県の大学男子陸上長距離界の頂点を決める大会で、今年で 84 回目を迎えます。「丹後大学駅伝」の名称でも親しまれ、今年の大会は、11 月 19 日（土）に開催予定です。位置付けとしては関東の大学を対象に行われている「箱根駅伝」と同じ地方大会ですが、知名度の面で大きな差があり、注目度向上に向けまだまだ充実させていく必要がある大会です。

そんな中 2023 年秋に開催される予定の第 100 回の箱根駅伝予選会には全国の大学が参加可能になり、今、関西の大学への関心が高まっています。この機運を活かし、後援自治体（宮津市、与謝野町、京丹後市）は、丹後大学駅伝の認知拡大をはかるため、一昨年から行っている「ふるさと納税での寄附（ガバメントクラウドファンディング）」という形で、支援者を募り、支援者と自治体が一体となって大会を作り上げていきます！（幹事自治体：京丹後市）

（1）第 84 回関西学生対校駅伝競走大会概要

大会名：丹後大学駅伝 第 84 回関西学生対校駅伝競走大会

日程：令和 4 年 11 月 19 日（土）

スタート：京丹後市久美浜公園 7 時 45 分（予定）

フィニッシュ：宮津市役所

区間：8 区間（84.5km） 出場大学：22 校（予定）

特色：ユネスコ世界認定を受ける「山陰海岸ジオパーク」（京丹後市）、歴史ある「ちりめん街道」（与謝野町）、日本三景の一つである「天橋立」（宮津市）などを見ながら晩秋の丹後路を駆け抜ける風光明媚なコース



（2）プロジェクト名

丹後大学駅伝のさらなる発展のために 丹後路を駆ける関西の学生ランナーを応援したい！
～みんなの力で「箱根」に追いつけ！プロジェクト 2022～

（3）目的

箱根駅伝に匹敵する大会へ発展することを目指したいという主催者（関西学生陸上競技連盟）の気持ちを後押しするため、大会の告知・広報を含む地上波でのテレビ放送の充実、インターネット配信の強化などを目的に皆さまからのご支援を募るものです。

(4) 募集内容

「ふるさとチョイス ガバメントクラウドファンディング」

※ガバメントクラウドファンディングとは：自治体が具体的な寄附金用途を示したプロジェクトを立ち上げ、寄附を募る資金調達手法。個人が寄附した場合は、通常のふるさと納税と同様に税控除の対象となります。法人による寄附も可能です（企業版ふるさと納税ではありません）。

募 集 期 間：令和4年9月27日（火）～ 11月20日（日）23時59分

目 標 金 額：300万円

寄附金の使い道：関西学生陸上競技連盟に対して、全額補助金交付。告知・広報を含む地上波でのテレビ放送の充実（※1）、インターネット配信の強化（※2）などの大会PR等の情報発信事業に活用する。

（※1）現在、深夜帯での地上波でのテレビ放送（録画）を予定していますが、今回は、より多くの方に大会を知っていただき、視聴していただくための告知や広報など大会PRの強化を中心に内容充実を図ります。

（※2）大会の様子は、当日インターネットでライブ配信され、配信後も閲覧が可能です。中継カメラの機材向上・台数の増設やライブ配信特設ページの内容充実を図ります。

返 礼 品：京丹後市内で利用可能な旅行・宿泊クーポン

詳細はふるさとチョイスのページをご覧ください。



※個人が寄附した場合、京丹後市内にお住まいの方へは、返礼品をお送りすることはできませんが、御寄附（ふるさと納税）による税控除については市内にお住まいの方を含めて対象となりますので、御寄附自体は行っていただけます。

(5) 過去の実績

第82回大会（2020年） 1,911,000円（寄附者123人）

第83回大会（2021年） 1,565,000円（寄附者67人）

※今年で3回目のガバメントクラウドファンディングですが、過去2回はいずれも目標額に到達していません。

(6) 後援自治体が駅伝応援に取り組む理由

「同じ学生ランナーの大会なのに関東と関西でこれだけ違うのを、地元として到底放っておけない。関西の学生ランナーにも、関西・全国の皆様からより一層注目をいただき、走っていただける環境づくりのお手伝いをしたい。」という思いから、大会のコースにある宮津市、与謝野町、京丹後市の総意のもとプロジェクトを発足させました。

(7) 今後のビジョン

2022年 大会の知名度や注目を向上させ学生が走りやすい環境を後援自治体として整備する。

2023年 箱根駅伝予選会（今年は10月開催）に関西の大学の出場が可能になる。その機運を活かし11月の丹後大学駅伝への関心を継続させる。

2024年以降 丹後大学駅伝を多くの方が楽しみにする大会として定着させ、大会を機に後援自治体にも足を運んでもらえるようなコンテンツを充実させていく。

【問い合わせ先】

<ふるさと納税に関する事>

市長公室政策企画課 ふるさと応援推進室

電話：0772-69-0120

<駅伝大会に関する事>

教育委員会事務局生涯学習課 スポーツ推進室

電話：0772-69-0630

私たちもこのプロジェクトに賛同しています！

別紙

京丹後市民れんけい推進本部 スポーツ交流戦略アドバイザー

「3150FIGHT」ファウンダー 亀田 興毅 氏

★応援コメント

今年、私が毎年訪問させていただいている京丹後市のスポーツ交流戦略アドバイザーに就任させていただきました。京丹後市で毎年開催されている関西学生対校駅伝競走大会は数年前から応援させていただいております。今年で第84回大会を迎えるこの伝統ある大会を、「みんなの力で『箱根』に追いつけ！プロジェクト」で盛り上げていけたらと思っております。

現在、私は関西を拠点にプロボクシングイベント「3150FIGHT」を主宰し、ファウンダー（設立者）という立場でイベントのプロデュースをしておりますが、このプロジェクト同様に関西からプロボクシングを盛り上げ、関東に負けないようなイベント作りに励んでおります。

関西の学生ランナーの皆様、選手達を応援して下さる皆様、皆様の力を合わせて、この大会を『箱根』に負けないような大きなイベントに育てて行きましょう。

木崎 良子 氏（宮津高（京都府） → 佛教大学）

地元の与謝野町出身で、宮津高校を卒業し、佛教大学在学時にユニバーシアード大会でメダルを獲得、卒業後に実業団でも活躍をされている木崎良子氏からご賛同いただいております。

2007年 ユニバーシアード 10000m 銀メダル

2012年 ロンドン五輪マラソン出場

西原 加純 氏（宮津高（京都府） → 佛教大学）

地元の与謝野町出身で、宮津高校を卒業し、佛教大学在学時にユニバーシアード大会でメダルを獲得、卒業後に実業団でも活躍をされている西原加純選手からご賛同いただいております。

2009年 ユニバーシアード 10000m 金メダル 5000m 銀メダル

2014年、2015年 日本選手権 10000m 2連覇

一色 恭志 氏（橋立中（京都府） → 仙台育英学園高（宮城県） → 豊川高（愛知県）

→ 青山学院大学）

地元の与謝野町出身で、青山学院大学在学時に「箱根駅伝」で3年連続（2015年第91回大会～2017年第93回大会）で2区を任され3連覇に貢献し、卒業後に実業団でも活躍をされている一色恭志選手からご賛同いただいております。

2016年 日本選手権 5000m 4位

2021年 第62回東日本実業団対抗駅伝競走大会 第7区 区間賞

過去に丹後大学駅伝に出場し、区間賞を獲得するなど活躍され、卒業後に実業団でマラソン、ニューイヤー駅伝等の主要大会で、活躍されているアスリートの方々から、本プロジェクトにご賛同いただいています。

上門 大祐 氏（出身大学：京都産業大学）

2015年 第77回大会 第5区 区間1位（区間新） *京都産業大学優勝

2019年 MGC 出場（東京2020五輪マラソン代表選考大会）

2020年 東京マラソン 日本歴代6位タイ 2時間6分54秒

村本 一樹 氏（出身大学：兵庫県立大学）

2015年 第77回大会 第1区 区間1位（区間新）

2019年 ニューイヤー駅伝 第6区 区間7位

2021年 びわ湖毎日マラソン 2時間7分36秒（兵庫県記録）

野中 優志 氏（出身大学：関西学院大学）

2017年 第79回大会 第6区 区間1位（区間新） *関西学院大学初優勝

2021年 ニューイヤー駅伝 第4区 区間4位

2021年 全日本実業団ハーフマラソン 5位（日本人3位）